

あの時、カーニバルがあった

～大磯カーニバル全史～

太平洋戦争が終わり、平和が訪れた頃、大磯では町をあげてカーニバルが行われていました。その名も「大磯カーニバル」。今は写真に残るそのにぎやかな祭典を、一挙、紹介します。

大磯カーニバル

大磯カーニバルは、海水浴の期間中に、町によりたくさんの方が集まることを目的として始められた行事です。1954年（昭和29）に第1回が行われ、以後、1960年（昭和35）まで7回行われました。

盛大だった第2回！

第2回は、なんと8日間にわたって行われました。名物となっていた仮装コンクール、花火大会のほか、美人コンテストが行われました。

第1回	1954年7月31日～8月2日
第2回	1955年7月24日～7月31日
第3回	1956年8月4日～8月6日
第4回	1957年8月3日～8月5日
第5回	1958年8月2日～8月4日
第6回	1959年7月31日～8月2日
第7回	1960年8月5日～8月7日

カーニバル？

カーニバルは、もともとキリスト教カトリックの祭りです。謝肉祭と訳されます。本来、悪霊に対する威嚇を目的として仮装が行われ、次第に、仮装行列などの催しや祭りをカーニバルと呼ぶようになりました。「大磯カーニバル」のカーニバルも、仮装行列のあるにぎやかな催し物という意味でしょう。



カーニバルの名物 仮装パレード
大竹健一氏撮影

鎌倉カーニバル

大磯の近くで早くから行われていたカーニバルに、「鎌倉カーニバル」があります。鎌倉では、第1回のカーニバルが1934年（昭和9）7月に行われました。主催は、フランスのニースのカーニバルに感銘を受けた久米正雄や、大佛次郎などの鎌倉文士たちで、大磯カーニバルもこの鎌倉カーニバルの影響を大きく受けていると考えられます。「大磯カーニバル」、「鎌倉カーニバル」、「江の島ビーチショウ」は、一時期、湘南海岸の三大行事と言われていました。